



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年2月6日

上場会社名 日本たばこ産業株式会社

上場取引所 東 大名 札 福

コード番号 2914 URL <http://www.jti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コミュニケーション責任者 (氏名) 田中 泰行

TEL 03-3582-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,947,122	5.8	309,906	15.6	301,671	21.0	160,424	33.7
23年3月期第3四半期	1,840,191	—	268,165	—	249,268	—	119,986	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 61,544百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △63,003百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	16,848.66	16,842.44
23年3月期第3四半期	12,524.50	12,521.18

※ 当連結会計年度より、会計方針を一部変更しております。詳細は8ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。また、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)に基づき、前年同期については各財務数値に対して遡及処理を行っております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	3,529,290	1,555,037	41.8	154,908.80
23年3月期	3,544,107	1,571,750	42.2	156,996.72

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,474,960百万円 23年3月期 1,494,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2,800.00	—	4,000.00	6,800.00
24年3月期	—	4,000.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5,000.00	9,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,540,000	4.4	365,000	9.5	353,000	12.8	189,000	30.0	19,849.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は8ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	10,000,000 株	23年3月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	478,526 株	23年3月期	478,526 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	9,521,474 株	23年3月期3Q	9,580,102 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、9ページ及び「2012年3月期 第3四半期決算説明会資料」の将来に関する記述等についてのご注意をご参照ください。

(2)決算説明会資料等につきましては、当社ウェブサイト(<http://www.jti.co.jp/>)をご覧ください。

## 添付資料 目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P6
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P8
3. 四半期連結財務諸表	P10
(1) 四半期連結貸借対照表	P10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P14
(4) セグメント情報	P16
(5) 継続企業の前提に関する注記	P20
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P20

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ① 全般的概況

## 売上高

売上高は、前年同期比 1,069 億円増収の 1 兆 9,471 億円（前年同期比 5.8%増）となりました。  
調整後売上高<sup>(注)</sup>につきましては、国内及び海外たばこ事業における単価上昇効果があったものの、国内たばこ事業における増税・定価改定による需要減及び震災影響等に伴う販売数量の減少並びに円高影響等により、前年同期比 195 億円減収の 1 兆 4,605 億円（前年同期比 1.3%減）となりました。

	2011年3月期 第3四半期 連結累計期間 (億円)	2012年3月期 第3四半期 連結累計期間 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結売上高	18,401	19,471	1,069	5.8
内、調整後売上高 <sup>(注)</sup>	14,800	14,605	△195	△1.3
国内たばこ事業	7,665	8,773	1,108	14.5
内、調整後売上高 <sup>(注)</sup>	4,641	4,448	△193	△4.2
海外たばこ事業	7,294	7,363	68	0.9
内、調整後売上高 <sup>(注)</sup>	6,717	6,823	105	1.6
医薬事業	359	393	33	9.4
食品事業	2,936	2,819	△117	△4.0

※ 外部売上高で表示しております。

※ たばこ税相当額については、従来売上高及び売上原価に含める方法を採用していましたが、2012年3月期より、これを売上高及び売上原価から控除する方法に変更しております。詳細につきましては、8ページをご参照ください。

なお、たばこ税込の連結売上高につきましては、以下のとおりです。

2011年3月期第3四半期連結累計期間：4兆6,687億円

2012年3月期第3四半期連結累計期間：5兆559億円

※ 連結売上高には、上記の他、不動産賃貸等に係るその他の売上高があります。詳細につきましては、17ページ及び19ページ「3. 四半期連結財務諸表 (4)セグメント情報 2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容」をご参照ください。

(注) 国内たばこ事業においては輸入たばこ、国内免税、中国事業等に係る売上高を控除し、海外たばこ事業においては物流事業、葉たばこ販売、製造受託等に係る売上高を控除しております。

**EBITDA 及び営業利益**

調整後売上高は減収となったものの、国内及び海外たばこ事業における単価上昇効果等により、EBITDA は前年同期比 403 億円増益の 4,660 億円（前年同期比 9.5%増）、営業利益につきましては、前年同期比 417 億円増益の 3,099 億円（前年同期比 15.6%増）となりました。

	2011年3月期 第3四半期 連結累計期間 (億円)	2012年3月期 第3四半期 連結累計期間 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
EBITDA	4,257	4,660	403	9.5
国内たばこ事業	1,851	2,123	271	14.6
海外たばこ事業	2,405	2,540	135	5.6
医薬事業	△64	△78	△14	—
食品事業	142	165	22	16.1
営業利益	2,681	3,099	417	15.6

※ EBITDA には、上記の他、その他の売上高に係る EBITDA 等があります。詳細につきましては、17 ページ及び 19 ページ「3. 四半期連結財務諸表 (4)セグメント情報 2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容」をご参照ください。

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却を含む）

**経常利益**

営業利益までの増益に加え、支払利息の減少等により営業外損益が 106 億円改善したことから、経常利益は、前年同期比 524 億円増益の 3,016 億円（前年同期比 21.0%増）となりました。

**四半期純利益**

東日本大震災による損失、葉たばこ廃作協力金及び海外たばこ事業における合理化費用を計上した一方、固定資産売却益の増加及び前年同期においてカナダにおける行政法規違反に係る過料の支払に伴う損失があったこと等から、特別損益は 6 億円改善し、税金等調整前四半期純利益は前年同期比 530 億円増益の 2,769 億円となりました。四半期純利益は利益の増加等に伴う法人税等の増加はあったものの、前年同期比 404 億円増益の 1,604 億円（前年同期比 33.7%増）となりました。

※ 2011 年 1 月より当社グループの海外たばこ事業に区分される JT International S. A. 他海外子会社（以下、JTI）は、適用する会計基準を米国会計基準から国際財務報告基準へ変更しております。詳細につきましては、8 ページをご参照ください。

なお、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第 18 号）に基づき、連結決算上、のれんの償却を実施しております。

※ 当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号）を適用しております。

## ②事業別の概況

### 〔国内たばこ事業〕

当第3四半期連結累計期間における紙巻たばこの販売数量は、東日本大震災後に銘柄数及び数量を限定した出荷としていたことに伴う影響に加えて、2010年10月の増税・定価改定による需要減の影響等により、前年同期に対し259億本減少し808億本<sup>(注)</sup>（前年同期比24.3%減）となりました。また、当第3四半期連結累計期間のシェアは53.6%（前年度シェア64.1%）となりました。なお、シェアは着実に回復してきており、10月単月シェアは58.2%、11月単月シェアは58.9%、12月単月シェアは59.1%と推移しております。

千本当売上高は、定価改定に伴い、前年同期に対し1,162円増加し5,497円となりました。

この結果、単価上昇効果はあったものの、販売数量の減少により、調整後売上高は前年同期比193億円減収の4,448億円（前年同期比4.2%減）となりました。なお、売上高は前年同期比1,108億円増収の8,773億円（前年同期比14.5%増）となりました。

またEBITDAは、販売数量は減少したものの、単価上昇効果に加え、特に4～6月において出荷銘柄数、数量を限定した状況下で販売促進活動を実施できなかったことに伴う費用の減少等があったことから、前年同期比271億円増益の2,123億円（前年同期比14.6%増）となりました。

(注) 当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第3四半期連結累計期間における販売数量28億本があります。

### 〔海外たばこ事業〕

当第3四半期連結累計期間におけるGFB<sup>(注)</sup>につきましては、「ウィンストン」がロシア、トルコ、イタリアで順調に伸張しました。これに加え、「LD」がロシアで増加したこと等により、GFBの販売数量は前年同期に対し76億本増加し、1,927億本（前年同期比4.1%増）となりました。またGFBを含む総販売数量は、ロシアにおけるGFB以外の製品の販売減少やウクライナ、スペインでの総需要減少等があったものの、前年同期に対し1億本増加し、3,196億本（前年同期比0.0%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、単価上昇効果に加えて、主要市場の現地通貨に有利な為替影響があったこと等により、ドルベースの売上高は前年同期比986百万ドル増収の9,137百万ドル（前年同期比12.1%増）、調整後売上高は前年同期比960百万ドル増収の8,466百万ドル（前年同期比12.8%増）、EBITDAは前年同期比465百万ドル増益の3,153百万ドル（前年同期比17.3%増）となりました。

この結果、邦貨換算時に円高の影響を受けたものの、売上高は前年同期比68億円増収の7,363億円（前年同期比0.9%増）、調整後売上高は前年同期比105億円増収の6,823億円（前年同期比1.6%増）、EBITDAは前年同期比135億円増益の2,540億円（前年同期比5.6%増）となりました。

(注) ブランド・ポートフォリオの根幹を支える「ウィンストン」「キャメル」「マイルドセブン」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをGFB（グローバル・フラッグシップ・ブランド）としております。

※ 当第3四半期連結累計期間における為替レートにつきましては、前年同期比8.90円 円高の1米国ドル＝80.59円（前年同期は1米国ドル＝89.49円）です。

**〔医薬事業〕**

医薬事業につきましては、後期開発品の充実、研究開発パイプラインの強化に注力しております。開発状況としましては、新たに自己免疫・アレルギー疾患治療薬「JTE-051」が臨床試験段階へ移行したことにより、自社開発品9品目<sup>(注)</sup>が臨床試験の段階にあります。なお、抗HIV薬「JTK-303」を含む配合錠について、導出先であるギリアド・サイエンシズ社が、米国等において承認申請を行っております。

子会社鳥居薬品(株)につきましては、「注射用フサン(蛋白分解酵素阻害剤)」の売上高は減少したものの、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」等の売上高が増加したことから増収となりましたが、研究開発費の増加等により営業利益は減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、鳥居薬品(株)における増収等により、前年同期比33億円増収の393億円(前年同期比9.4%増)となりました。EBITDAは、鳥居薬品(株)での研究開発費の増加等により、78億円のマイナス(前年同期のEBITDAは64億円のマイナス)となりました。

(注) 臨床開発品目につきましては、「2012年3月期 第3四半期決算説明会資料」の「臨床開発品目一覧(2012年2月6日現在)」をご覧ください。

**〔食品事業〕**

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主として基幹ブランド「ルーツ」の販売が堅調に推移したこと、ステープル(冷凍麺、米飯、焼成冷凍パン)の伸張による売上増があったものの、加工食品事業等において、前年度に精白米等の卸売事業の廃止をした影響等により、前年同期比117億円減収の2,819億円(前年同期比4.0%減)となりました。一方、EBITDAは「ルーツ」の更なるブランド価値向上に向けた広告宣伝費等の増加等があったものの、利益率の高いステープルの伸張及び固定費の減少等により、前年同期比22億円増益の165億円(前年同期比16.1%増)となりました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報**

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ1,348億円増加し、3,790億円となりました(前年同期末残高2,260億円)。

**〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕**

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、4,640億円の収入(前年同期は3,456億円の収入)となりました。これは、EBITDAを4,660億円計上したこと及び未払たばこ税の増加があった一方、法人税の支払及び売上債権の増加等があったことによるものです。

**〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕**

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、736億円の支出(前年同期は1,044億円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得及びスーダン市場での事業基盤獲得に伴う支出等があったことによるものです。

**〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕**

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、2,460億円の支出(前年同期は1,640億円の支出)となりました。これは、社債の償還、配当金の支払及び長期借入金の返済を行ったこと等によるものです。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

当期の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正いたします。

	前回予想 (2011年10月31日公表) (億円)	今回予想 (億円)	前回予想比増減 (億円)
連結売上高	24,970	25,400	430
内、調整後売上高	18,950	19,240	290
国内たばこ事業	11,000	11,380	380
内、調整後売上高	5,690	5,940	250
海外たばこ事業	9,580	9,660	80
内、調整後売上高	8,870	8,945	75
医薬事業	500	505	5
食品事業	3,730	3,690	△40
EBITDA	5,370	5,730	360
国内たばこ事業	2,440	2,660	220
海外たばこ事業	3,020	3,125	105
医薬事業	△140	△125	15
食品事業	200	200	0
営業利益	3,290	3,650	360
経常利益	3,180	3,530	350
当期純利益	1,610	1,890	280

**売上高及び EBITDA**

売上高につきましては、2兆5,400億円を見込んでおります。調整後売上高につきましては290億円上方修正の1兆9,240億円を見込んでおります。EBITDAにつきましては、360億円上方修正の5,730億円を見込んでおります。

各セグメントの見直しにつきましては以下のとおりです。

**〔国内たばこ事業〕**

2010年10月の増税・定価改定から1年以上が経過し、また東日本大震災後の動向も一定程度落ち着いてきた状況にあり、販売数量につきましては、足許までの販売動向が前回予想時に比べ強めに推移していることも踏まえ、50億本上方修正の1,080億本を見込んでおります。

引き続き、主要ブランドを中心とした積極的かつ効果的な新製品の投入・販売促進活動の展開などを通して、早期の市場シェア回復を目指し、全力を挙げて競争力の強化に取り組んでまいります。当社が特に注力しているブランドの内、マイルドセブン・ファミリーから本年1月に「マイルドセブン・スタイルプラス・6」及び「マイルドセブン・スタイルプラス・ワン」を発売しており、3月には「マイルドセブン・インパクトメンソール・ボックス」を新発売する予定です。

販売数量見込等を踏まえ、調整後売上高につきましては250億円上方修正の5,940億円、EBITDAにつきましては220億円上方修正の2,660億円を見込んでおります。なお、売上高につきましては1兆1,380億円を見込んでおります。

※見通しの前提となる販売数量

	前回予想	今回予想
販売数量	1,030億本	1,080億本



**〔海外たばこ事業〕**

総販売数量、GFB の販売数量ともにほぼ前回予想どおりですが、邦貨換算レートが想定より円安に推移したこと等により、売上高につきましては 80 億円上方修正の 9,660 億円、調整後売上高につきましては 75 億円上方修正の 8,945 億円、また EBITDA につきましては、経費全般の効率的な執行及び主要現地通貨における一部有利な為替の影響も加わり 105 億円上方修正の 3,125 億円を見込んでおります。

※見通しの前提となる販売数量及び為替レート

	前回予想	今回予想 (2011年1月～12月実績)
販売数量	4,260 億本	4,257 億本
内、GFB 販売数量	2,570 億本	2,565 億本
為替レート (1 米国ドル)	79.00 円	79.80 円

(注) 今回予想時に前提とした主要な現地通貨の米国ドルに対するレートにつきましては、以下のとおりです。

為替レート (1 米国ドル)	前回予想	今回予想 (2011年1月～12月実績)
ルーブル	30.00 ルーブル	29.40 ルーブル
英ポンド	0.62 英ポンド	0.63 英ポンド
ユーロ	0.71 ユーロ	0.72 ユーロ

**〔医薬事業〕**

売上高につきましては、既導出品に係る一時金収入の増加等により 5 億円上方修正の 505 億円を見込んでおります。また、EBITDA につきましては、鳥居薬品株式会社における研究開発費の見直し等により、15 億円上方修正の 125 億円のマイナス(前回予想は 140 億円のマイナス)を見込んでおります。

**〔食品事業〕**

飲料事業において「ルーツ」を中心とした堅調な販売を見込むものの、加工食品事業等において、主として業務用商品の減収を見込み、食品事業全体の売上高につきましては 40 億円下方修正の 3,690 億円を見込んでおります。一方、EBITDA につきましては、事業全般において引き続きコスト削減に努めることで前回予想と同額の 200 億円を見込んでおります。

**経常利益及び当期純利益**

EBITDA までの上方修正を受け、経常利益につきましては 350 億円上方修正の 3,530 億円、当期純利益につきましては 280 億円上方修正の 1,890 億円を見込んでおります。

なお、今回の当期連結業績予想を踏まえ、1 株当たりの当期末配当予想を 5,000 円に上方修正させていただきます。従いまして、第 2 四半期末における配当 4,000 円を含め、年間での 1 株当たり配当金は 9,000 円となる見込みです。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(JT International S. A. 他海外子会社における国際財務報告基準の適用)

当社グループの海外たばこ事業に区分される JTI は、従来米国で一般に認められた会計処理基準を適用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準を適用することといたしました。

これは、当社グループの事業がグローバルに拡大しており、国際財務報告基準を適用することが、資本市場における国際的な比較可能性を高めるために有用であることから、当社グループとして国際財務報告基準の適用を目指す中で、従来米国で一般に認められた会計処理基準を適用していた JTI について、当期首時点で国際財務報告基準に対応できる体制が整備されたため、第1四半期連結会計期間より国際財務報告基準を適用するものであります。

なお、この変更に伴い、JTI における財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの数値並びに「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日、平成22年2月19日改正）等について遡及適用等を行い、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、総資産が27,820百万円減少、総負債は8,368百万円減少し、純資産は19,452百万円減少しております。

前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、売上高が1,264,031百万円減少、売上原価は1,264,632百万円減少、営業利益は3,612百万円増加、経常利益は828百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は828百万円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高は4,661百万円減少しております。

(たばこ税相当額の売上高及び売上原価からの控除)

当社グループは従来、たばこ税相当額を売上高及び売上原価に含める方法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、これを売上高及び売上原価から控除する方法に変更しております。

たばこ税については、各国において異なる仕組みにより課税されておりますが、売上高に含まれるたばこ税相当額はその同額が売上原価に含まれているため、利益に影響を与えるものではありません。しかしながら、近年、各国でたばこ税の増税が実施される状況下において、売上高及び売上原価に含まれるたばこ税相当額の増加により、当社グループの業績が事業活動の成果以上に過大に捉えられる可能性があると考えております。

このような環境下においてたばこ税相当額を売上高及び売上原価から控除し表示することで、当社グループの業績をより適切に開示できると考えております。

また、当社グループの事業がグローバルに拡大する中で、国際財務報告基準に基づいた会計処理を勘案することが適切であり、さらに「我が国の収益認識に関する研究報告（中間報告）－IAS第18号「収益」に照らした考察－（平成21年12月8日 日本公認会計士協会）」における税金相当額の取扱いも斟酌し、事業の実態をより適切に反映するものとして当該変更を行うものであります。

当該会計方針の変更については、遡及適用を行い、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価は1,543,704百万円減少（JTIが国際財務報告基準を適用した影響を除く）しておりますが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度の期首の純資産に反映されるべき累積的影響額はないため、前連結会計年度の利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

## (1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業に提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

なお、これによる影響は軽微であります。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2012年3月期 第3四半期決算説明会資料」に記載しております。

## (将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しております。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。)

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2011年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	117,458	131,326
受取手形及び売掛金	301,829	330,337
有価証券	159,097	39,494
商品及び製品	108,215	118,901
半製品	103,475	84,958
仕掛品	3,738	4,422
原材料及び貯蔵品	276,989	263,463
その他	172,920	393,970
貸倒引当金	△2,781	△2,160
流動資産合計	1,240,943	1,364,713
固定資産		
有形固定資産	663,550	631,229
無形固定資産		
のれん	1,094,366	993,120
商標権	286,435	261,804
その他	27,234	28,277
無形固定資産合計	1,408,037	1,283,203
投資その他の資産		
投資有価証券	58,582	62,755
その他	196,533	209,341
貸倒引当金	△23,540	△21,953
投資その他の資産合計	231,576	250,143
固定資産合計	2,303,163	2,164,577
資産合計	3,544,107	3,529,290
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	170,820	170,109
短期借入金	70,059	44,539
1年内償還予定の社債	126,486	60,219
1年内返済予定の長期借入金	21,490	109,976
未払たばこ税	202,234	280,269
未払たばこ特別税	8,150	16,144
未払地方たばこ税	102,168	207,099
未払法人税等	65,651	63,116
引当金	38,777	29,499
その他	252,052	233,169
流動負債合計	1,057,892	1,214,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2011年12月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	325,738	262,166
長期借入金	152,414	52,774
退職給付引当金	224,214	228,329
その他の引当金	375	467
その他	211,720	216,370
<b>固定負債合計</b>	<b>914,464</b>	<b>760,108</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,972,356</b>	<b>1,974,253</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,409	736,409
利益剰余金	1,395,932	1,480,184
自己株式	△94,573	△94,573
<b>株主資本合計</b>	<b>2,137,768</b>	<b>2,222,020</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	5,753	8,174
海外連結子会社の年金債務調整額	△34	△32
為替換算調整勘定	△648,647	△755,202
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△642,928</b>	<b>△747,060</b>
<b>新株予約権</b>	<b>763</b>	<b>956</b>
少数株主持分	76,146	79,120
<b>純資産合計</b>	<b>1,571,750</b>	<b>1,555,037</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,544,107</b>	<b>3,529,290</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年12月31日まで)
売上高	1,840,191	1,947,122
売上原価	993,603	1,063,937
売上総利益	846,587	883,185
販売費及び一般管理費	578,422	573,278
営業利益	268,165	309,906
営業外収益		
受取利息	1,591	1,778
受取配当金	852	1,242
その他	5,651	8,974
営業外収益合計	8,095	11,994
営業外費用		
支払利息	13,397	11,192
為替差損	1,606	681
たばこ災害援助金	1,457	2,866
その他	10,531	5,489
営業外費用合計	26,992	20,229
経常利益	249,268	301,671
特別利益		
固定資産売却益	2,900	22,021
その他	3,784	1,441
特別利益合計	6,685	23,463
特別損失		
固定資産売却損	540	936
固定資産除却損	3,980	3,623
減損損失	3,338	867
カナダにおける行政法規違反過料	13,092	—
東日本大震災による損失	—	12,243
葉たばこ廃作協力金	—	12,387
その他	11,199	18,173
特別損失合計	32,150	48,231
税金等調整前四半期純利益	223,803	276,903
法人税等	99,102	110,983
少数株主損益調整前四半期純利益	124,700	165,919
少数株主利益	4,714	5,495
四半期純利益	119,986	160,424

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年12月31日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	124,700	165,919
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△3,604	2,422
海外連結子会社の年金債務調整額	△5	2
為替換算調整勘定	△184,094	△106,798
その他の包括利益合計	△187,704	△104,374
四半期包括利益	△63,003	61,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68,193	56,291
少数株主に係る四半期包括利益	5,189	5,253

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年12月31日まで)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	223,803	276,903
減価償却費	90,563	93,973
減損損失	3,338	867
のれん償却額	67,001	62,935
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,155	5,862
受取利息及び受取配当金	△2,443	△3,020
支払利息	13,397	11,192
固定資産除売却損益 (△は益)	475	△18,725
カナダにおける行政法規違反過料	13,092	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,753	△45,119
たな卸資産の増減額 (△は増加)	283	△215
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,423	2,626
未払金の増減額 (△は減少)	△12,469	△9,358
未払たばこ税等の増減額 (△は減少)	133,525	205,367
その他	△405	1,829
小計	478,828	585,119
利息及び配当金の受取額	4,088	4,444
利息の支払額	△16,605	△13,883
カナダにおける行政法規違反過料の支払額	△13,092	—
法人税等の支払額	△107,524	△111,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	345,695	464,019
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△13,790	△2,105
有価証券の売却及び償還による収入	12,894	19,986
有形固定資産の取得による支出	△99,574	△65,918
有形固定資産の売却による収入	5,740	27,962
無形固定資産の取得による支出	△5,459	△8,728
投資有価証券の取得による支出	△2,006	△3,531
定期預金の預入による支出	△23,643	△30,546
定期預金の払戻による収入	10,603	22,707
子会社株式の取得による支出	△109	△507
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△33,442
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△646	—
その他	11,568	423
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,423	△73,699



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (2011年4月1日から 2011年12月31日まで)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△169,843	△2,123
長期借入れによる収入	49,091	79
長期借入金の返済による支出	△12,636	△28,430
社債の発行による収入	79,798	—
社債の償還による支出	△50,200	△134,183
配当金の支払額	△55,518	△76,125
少数株主からの払込みによる収入	406	340
少数株主への配当金の支払額	△1,109	△1,781
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,040	△3,871
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,054	△246,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,742	△9,373
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71,474	134,848
現金及び現金同等物の期首残高	154,368	244,240
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	194	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	226,038	379,088

## (4) セグメント情報

## I 前第3四半期連結累計期間 (2010年4月1日から2010年12月31日まで)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	国内たばこ	海外たばこ (注) 3	医薬	食品	合計
売上高					
(1) 外部売上高 (注) 1	766,558	729,492	35,968	293,673	1,825,693
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	23,182	34,192	—	96	57,471
計	789,741	763,684	35,968	293,770	1,883,164
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	185,175	240,503	△6,401	14,227	433,505

(注) 1. 国内たばこ事業の売上高には、当社たばこ製品の売上高に加え、他社たばこ製品（輸入たばこ製品）の卸売販売、国内免税、中国事業等に係る売上高が含まれております。国内たばこ事業におけるこれらの売上高を控除した調整後売上高は464,166百万円であります。また同様に、海外たばこ事業の売上高についても、他社たばこ製品の卸売販売を含む物流事業、葉たばこ販売、製造受託等に係る売上高が含まれております。海外たばこ事業におけるこれらの売上高を控除した調整後売上高は671,783百万円であります。国内たばこ事業及び海外たばこ事業の業績をご理解いただくにあたり、これらの他社たばこ製品の卸売販売等に係る売上高を控除した売上高が有用であると考え、これを調整後売上高として開示しております。

2. セグメント利益又は損失は、減価償却（有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用）及びのれん償却前営業利益ベースの数値（EBITDA）であります。

なお、報告セグメントごとの減価償却費及び営業費用に含まれているのれん償却額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

前第3四半期連結累計期間	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	合計
減価償却費	32,863	38,427	3,054	12,578	86,923
のれん償却額	816	58,994	—	7,205	67,015

3. 海外たばこに区分したJT International S.A. を中核とする海外連結子会社グループの年度決算日は12月31日であり、2010年1月1日から2010年9月30日までを前第3四半期連結累計期間に計上しております。

## 2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,883,164
その他の売上高（注）1	21,696
セグメント間取引消去	△64,669
四半期連結損益計算書の売上高	1,840,191

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	433,505
その他の利益（注）1	9,825
本社経費（注）2	△14,175
セグメント間取引消去	△607
その他の調整額（注）3	△2,802
小計（注）4	425,744
減価償却費	△90,563
のれん償却額	△67,015
四半期連結損益計算書の営業利益	268,165

（注）1. その他の売上高及びその他の利益は不動産賃貸に係る事業活動等を含んでおります。

2. 本社経費は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、企業広報経費や本社コーポレート部門運営費等が含まれております。

3. その他の調整額には、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（実務対応報告第18号）に基づき修正された、海外たばこ事業に関する退職給付会計における数理計算上の差異の費用処理額が含まれております。

4. 小計は全社での減価償却（有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用）及びのれん償却前営業利益ベースの数値（EBITDA）であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（2011年4月1日から2011年12月31日まで）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	国内たばこ	海外たばこ (注) 3	医薬	食品	合計
売上高					
(1) 外部売上高 (注) 1	877,370	736,373	39,352	281,960	1,935,057
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	20,598	21,808	—	68	42,475
計	897,968	758,182	39,352	282,029	1,977,532
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	212,302	254,082	△7,805	16,515	475,094

(注) 1. 国内たばこ事業の売上高には、当社たばこ製品の売上高に加え、他社たばこ製品（輸入たばこ製品）の卸売販売、国内免税、中国事業等に係る売上高が含まれております。国内たばこ事業におけるこれらの売上高を控除した調整後売上高は444,844百万円であります。また同様に、海外たばこ事業の売上高についても、他社たばこ製品の卸売販売を含む物流事業、葉たばこ販売、製造受託等に係る売上高が含まれております。海外たばこ事業におけるこれらの売上高を控除した調整後売上高は682,300百万円であります。国内たばこ事業及び海外たばこ事業の業績をご理解いただくにあたり、これらの他社たばこ製品の卸売販売等に係る売上高を控除した売上高が有用であると考え、これを調整後売上高として開示しております。

2. セグメント利益又は損失は、減価償却（有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用）及びのれん償却前営業利益ベースの数値（EBITDA）であります。

なお、報告セグメントごとの減価償却費及び営業費用に含まれているのれん償却額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	合計
減価償却費	30,599	42,712	2,808	13,741	89,861
のれん償却額	817	55,090	—	7,041	62,949

3. 海外たばこに区分したJT International S.A. を中核とする海外連結子会社グループの年度決算日は12月31日であり、2011年1月1日から2011年9月30日までを当第3四半期連結累計期間に計上しております。

## 2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,977,532
その他の売上高（注）1	19,059
セグメント間取引消去	△49,469
四半期連結損益計算書の売上高	1,947,122

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	475,094
その他の利益（注）1	8,298
本社経費（注）2	△14,234
セグメント間取引消去	△1,009
その他の調整額（注）3	△2,074
小計（注）4	466,074
減価償却費	△93,218
のれん償却額	△62,949
四半期連結損益計算書の営業利益	309,906

（注）1. その他の売上高及びその他の利益は不動産賃貸に係る事業活動等を含んでおります。

2. 本社経費は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、企業広報経費や本社コーポレート部門運営費等が含まれております。

3. その他の調整額には、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（実務対応報告第18号）に基づき修正された、海外たばこ事業に関する退職給付会計における数理計算上の差異の費用処理額が含まれております。

4. 小計は全社での減価償却（有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用）及びのれん償却前営業利益ベースの数値（EBITDA）であります。

## 3. 報告セグメントごとの利益又は損失の測定方法の変更

「2. サマリー情報（その他）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、JT International S.A. を中核とする海外たばこ事業については、第1四半期連結会計期間より国際財務報告基準を適用しております。海外たばこ事業については、当該国際財務報告基準で作成された財務諸表を基に事業管理を行っております。そのため、セグメント情報における海外たばこ事業セグメントに関する利益の測定については、当該国際財務報告基準に基づいたものになっております。

なお、前第3四半期連結累計期間については、当年度の事業セグメントの利益の測定方法に基づき遡及して作成した数値となっております。

(5) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。